

---

時代を越えて引き継がれたブルー 父との二人展 柳瀬俊雄・柳瀬俊泰  
特別出品 中村研一、飯田弥生

秋をテーマとしたデザートセットやカクテル等も期間中ご提供

---

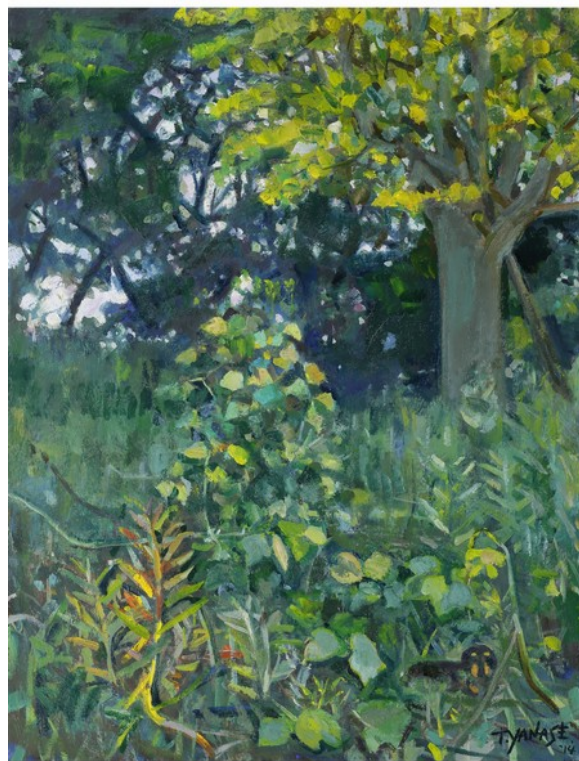
パークホテル東京では2012年に「日本の美意識が体感できる時空間」を新コンセプトに据え、創造的なおもてなしを志してまいりました。今回、秋の特別企画展として「時代を越えて引き継がれたブルー『父との二人展』 柳瀬俊雄・柳瀬俊泰」を開催致します。

この展覧会では、日本の洋画界の一翼を担った画家・柳瀬俊雄とそのご子息で日展画家の柳瀬俊泰の作品を展示、昭和の洋画壇を代表する巨匠中村研一、女性洋画家の草分け的存在である飯田弥生、そして洋画家として初の文化勲章を受賞した岡田三郎助の作品も特別に展示いたします。柳瀬俊雄の大作50余点の展覧は、没後東京ではじめてのことになります。

明治から現代に至るまで、時代を越えて圧倒的存在感を放つ日本の洋画壇を代表する画家の作品を、この機会にご高覧いただければ幸いです。パークホテル東京で芸術の秋のひとときを、ゆっくりとお楽しみ下さいませ。



柳瀬俊雄  
1964年「序幕」 第7回 日展 菊華賞 F80



柳瀬俊泰  
2014年「PILGRIMAGE-愛犬へのオマージュ」P12

時代を越えて引き継がれたブルー  
父との二人展 柳瀬俊雄・柳瀬俊泰  
特別出品 中村研一、飯田弥生

【期 間】2014年9月16日（火）～2014年11月30日（日）無休

【時間】11:00～18:00 ※7:00～10:00は暗くなってから

臨時イベントにより会場内入場の時間制限などを設ける場合も有

【会 場】パークホテル東京 25F アートラウンジ、31F、32F 【料 金】入場無料

【出品作家】柳瀬俊雄・柳瀬俊泰 特別出品 中村研一、飯田弥生

【映像制作】antymark (<http://antymark.com/>)

【先生からのメッセージ】私の曾祖父は生糸の貿易で成功した実業家で、永田町にあった家は（残っていた蔵もなくなりましたが）現在国会図書館になっています。祖父は島根県に生まれ東京帝大を出て銀行に入行後、柳瀬家に養子に入りました。父（柳瀬俊雄）と叔母（飯田弥生）は祖父の学友の御子息で、後の中村研一画伯と岡田三郎助先生の研究所で出会い、恵まれた環境の中で文展 帝展 そして日展に長年作品を出品し続けることができました。「父との二人展」、開催のきっかけになった1月に94才で亡くなった叔母の絵、私の曾祖母を描いた岡田三郎助先生の油絵作品や中村研一先生の本画も特別に出品いたします。「ブルーは全ての濃淡において本来の個性を保ち続ける唯一の色」（R.デュフィ）と思っております。

日展会員 柳瀬俊泰



柳瀬俊雄「花」



柳瀬俊泰「富津の海」



中村研一「さくらんぼ」



飯田弥生「パリの街角」

## 【出品作家】

柳瀬俊雄／Toshio Yanase (1910-1977)

岡田三郎助、中村研一に師事。1951年日展特選並びに朝倉賞、1964年日展菊華賞、1965年日展審査賞。箱根彫刻の森美術館、島根県立美術館が作品を購入。週刊朝日 表紙、河出書房 文学全集 挿絵 執筆、資生堂ギャラリー、大丸で個展。上野の森「十柯会」でも毎年大作を発表。北海道 BIHORO MUSEUM、中村研一記念小金井市立はけの森美術館が代表作を収蔵している。

柳瀬俊泰／Toshiyasu Yanase

日展審査員を就めた洋画家 柳瀬俊雄の長男として東京に生まれる。  
大学在学中に日洋展で受賞し日展に入選。上野の森美術館アートスクール講師、同美術館「大賞展」特別優秀賞、「日本の自然」文部大臣奨励賞。紺綬褒章、自治功労賞(北海道)を受章し 2012年日展審査員。日展会館、上野の森美術館、菱川師宣記念館、北海道美幌博物館等に作品収蔵。飯田弥生美術館の理事も就める。 — 芝パークホテルに作品蔵。

中村研一／Nakamura Kenichi (1895-1967)

「コダバル」等で知られる昭和の洋画壇を代表する巨匠。  
東京美術学校卒業の翌年 1921年「第3回帝展」で特選を受賞して渡仏、モーリス・アスランと交友。帰国後 1928年、29年にも連続して特選(帝展)。1930年帝国美術院賞、42年朝日賞。1950年日本芸術院会員に就任した。  
「中村研一記念 小金井市立はけの森美術館」がある。

飯田弥生／Iida Yayoi (1919-2014)

岡田三郎助、中村研一に師事。1942年「春台美術展」第1回岡田賞、53年「第9回日展」岡田賞、55年「第11回日展」特選、61年「第4回新日展」菊華賞を受賞し1966年日展審査員。光風会評議員、中村研一記念美術館の理事も就めた。千代田区六番町に「飯田弥生美術館」が開設される。

岡田三郎助／Saburosuke Okada (1869-1939)

横山大観等と共に第1回文化勲章(1937年)を受章した明治から昭和初期を代表する洋画家。  
佐賀県に生まれ、明治30年第1回文部省留学生として渡仏。同35年東京美術学校教授、同40年第1回文展(日展の前身)審査員。大正8年帝国美術院会員。

## ■秋をテーマとしたお料理等 ■

### アート ラウンジ より

#### デザート・で・アート「鳴門金時のミルフィーユ」

こだわりの鳴門金時（なるときんとき）を使用したスイートポテトは、ほっくりと優しい甘さ。付け合せのマスカルポーネ・クリームと一緒に召し上がれ。

[期間] 9/16（火）～11/30（日）

喫茶時間 14時30分～17時 1800円（税・サービス料含む）コーヒー付き  
ディナータイム 17時30分～22時 1200円（税・サービス料含む） 単品



「鳴門金時のミルフィーユ」

### 日本料理 花山椒 より

#### 前菜「秋の吹き寄せ」

旬の食材を盛り込んだ、色とりどりの「秋の吹き寄せ」。京都の紅葉を思わせるような鮮やかさは、確かな秋の訪れを感じさせてくれる。

[期間] 10/1（水）～10/31（金）

[料金] 2,138円（税・サービス料含む）



「秋の吹き寄せ」

### タテル ヨシノ ビズ より

#### スープ「バアルヌ風 野菜のスープ」

白い皿に盛りつけられた野菜のスープは、まるで一枚の絵のように美しい。見た目も味わいも華やかな、シェフ自慢の一皿です。

[期間] 11/1（土）～11/30（日）

[料金] 800円（税・サービス料含む）



「バアルヌ風 野菜のスープ」

### ザ ソサエティ より

#### カクテル「ビットウィーン ジ オータム」

夏の面影を残した柑橘系の爽やかなカクテルに葡萄のお酒を浮かべました。夏から秋への季節の移ろいをイメージしたカクテルをお楽しみください。

[期間] 9/16（火）～11/30（日）

[料金] 1500円（税・サービス料含む）



「ビットウィーン ジ オータム」

＜本件に関するお問い合わせ＞

パークホテル東京 マーケティング部 広報：早乙女

Email : [sotome@shibaparkhotel.com](mailto:sotome@shibaparkhotel.com) 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

TEL: 03-6252-1111(代) FAX: 03-6252-1001 PHS: 070-5368-7440